

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	公立大学法人神戸市外国語大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
外国語学部	英米学科	夜・通信	49	32	0	81	13	
	ロシア学科	夜・通信	49	32	0	81	13	
	中国学科	夜・通信	49	32	0	81	13	
	イスパニア学科	夜・通信	49	32	0	81	13	
	国際関係学科	夜・通信	49	32	0	81	13	
外国語学部第2部	英米学科	夜・通信	18	2	0	20	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(1) 本学ホームページへの掲載 (受験生等向け)

URL: <http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/jitsumukyoin.html>

(2) 本学学務情報システム (GAIDAI PASS) への掲示 (在学生、教職員向け)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	公立大学法人神戸市外国語大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/board.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(現職) 神戸商工会議所 副会頭・田嶋株式会社代 表取締役社長	2017年9月 1日～2019 年8月31日	副理事長(理事長を 補佐し法人の業務 を掌理する。)
非常勤	(現職) 神戸親和女子大学教授 (前職) 神戸新聞社常勤監査役	2019年4月 1日～2021 年3月31日	広報担当(専門的な 見地から広報戦略 を担う。)
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	公立大学法人神戸市外国語大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成過程】 「授業の方法及び内容」、「到達目標」、「成績評価の方法や基準」、「実務経験のある教員がどのような教育を行うのか」等の必要事項を記載した「シラバス記載例」を授業担当教員へ配布のうえ作成依頼を行っている。</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成・公表時期】 シラバスは、教員が1月～2月にかけて作成し、3月中旬に本学ホームページにて公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://www.kobe-cufs.ac.jp/ (上記URLより、本学ホームページへアクセスしページ右下の「シラバス検索」→「シラバス照会」より検索が可能。)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位取得に必要な基準となる「成績評価基準」を履修規程に定め、本学ホームページで明示している。 【URL】 http://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/seisekihyouka/</p> <p>また、各授業の「評価の方法・基準」及び「履修にあたっての注意」をシラバスへ明記し学生へ公開しており、各教員はシラバスの評価基準に基づき厳格な評価を行い単位を付与している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【G P A等の客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法など）】</p> <p>(G P算出方法) $GP = (\text{評価点} - 55) / 10$ (評価点 < 60 点のとき GP=0)</p> <p>(G P A算出方法) $GPA = \Sigma (\text{各科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) / \text{総単位数}$</p> <p>【客観的な指標の適切な実施状況】 毎年度、学科ごとのG P A分布状況を含む各種数値を把握し関係委員会において検証を行っている。</p> <p>【客観的な指標の算出方法の公表方法】 本学ホームページ（下記 URL にて閲覧可能）</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/seisekihyouka/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の具体的な内容】 次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位を授与する。</p> <p>① 世界を見渡す視点を持ち、専攻する地域を中心に言語、文化、社会に関する知識を備え、国際的な対話に対する積極的な姿勢を身につけていること。</p> <p>② 特定の分野について外国語で意思疎通ができる能力を身につけていること。</p> <p>③ 複数の外国語で社会の基本情報を手に入れ、世界の多様性を理解できる能力を身につけていること。</p> <p>④ 世界の出来事に対して、その本質を理解し、その背景について議論し、自分の考えを体系的にまとめる思考力と表現力を身につけていること。</p> <p>【卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の適切な実施状況】 上記の資質能力形成のためにカリキュラムポリシーを策定し、これに基づいて教育課程を編成している。また、各授業で定めた成績評価の方法に基づき、学修成果を厳格に評価し、単位を授与している。なお、本学に4年以上在学し、所定の124単位以上を修得した学生に学士（外国学または国際関係学）の学位を授与している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/diploma_policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	公立大学法人神戸市外国語大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/
財産目録	作成不要
事業報告書	http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/
監事による監査報告(書)	http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部、外国語学部第 2 部
教育研究上の目的 (公表方法 : http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/)
(概要) 本学は、外国語並びに国際文化に関する理論と実際を教授研究し、高い外国語能力、広い国際知識、深い法・経・商等の基礎的教養を具えた、人格の円満な、国際的人材を育成すると共に、地方における特殊な学術研究の中心として、文化の発展向上に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/diploma_policy.html)
(概要) 次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位を授与する。 ①世界を見渡す視点を持ち、専攻する地域を中心に言語、文化、社会に関する知識を備え、国際的な対話に対する積極的な姿勢を身につけていること。 ②特定の分野について外国語で意思疎通ができる能力を身につけていること。 ③複数の外国語で社会の基本情報を手に入れ、世界の多様性を理解できる能力を身につけていること。 ④世界の出来事に対して、その本質を理解し、その背景について議論し、自分の考えを体系的にまとめる思考力と表現力を身につけていること。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/curriculum_policy.html)
(概要) ディプロマ・ポリシーに掲げた目標を達成するために「専攻語学」「兼修語学」を体系的に編成し、「洗練された外国語能力」を養います。また、「学科基礎科目」「全学共通科目」での学びを土台として、学科毎に定められた「コース科目」や「学科専門科目」の履修を通じて、専門性を備えた「行動する国際人」の育成を目指します。この方針に沿って、外国語による意思疎通能力の向上、そして国際的な対話に対する積極的な姿勢の修得を目指す教育を実践しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/admission_policy.html)
(概要) 神戸市外国語大学は、国際的な知識と柔軟な判断力を持った「行動する国際人」の育成を目指しています。また、この教育理念に基づきディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを策定しています。 このディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに掲げる目標を達成するために、神戸市外国語大学は、本学の教育理念に共鳴するとともに、本学での学びを通じて、外国や自国の言語・文化・社会への関心をさらに高め、これからの国際人にふさわしい視野の広さ・専門的知識・対話能力の獲得を積極的に目指す学生を求めます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <http://www.kobe-cufs.ac.jp/about/files/organization%20chart.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
外国語学部・外国語学部 第2部	—	43人	32人	1人	0人	0人	76人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		215人					215人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.kobe-cufs.ac.jp/institute/faculty/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
(1) 授業評価アンケートを実施し、教員が教育方法等の見直しができる機会を提供している。							
(2) FD推進部会が学生との座談会及び新任教員との座談会を実施し、授業等の改善へ向けた検討を行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
外国語学部	350人	369人	105.4%	1,400人	1,721人	122.9%	若干名	0人
外国語学部 第2部	80人	92人	115.0%	320人	418人	130.6%	若干名	0人
合計	430人	461人	107.2%	1,720人	2,139人	124.4%	若干名	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数					
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
外国語学部	367人 (100%)	8人 (2.2%)	339人 (92.4%)	20人 (5.4%)	
外国語学部 第2部	71人 (100%)	4人 (5.6%)	47人 (66.2%)	20人 (28.2%)	
合計	438人 (100%)	12人 (2.7%)	386人 (88.1%)	40人 (9.1%)	
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 製造業 24.6%、貿易・商事 17.1%、運輸・倉庫 14.2%、公務員・教員 11.2%					
(備考)					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
外国語学部	371人 (100%)	148人 (39.9%)	214人 (57.7%)	9人 (2.4%)	0人 (0%)
外国語学部 第2部	92人 (100%)	28人 (30.4%)	58人 (63.0%)	6人 (6.5%)	0人 (0%)
合計	463人 (100%)	176人 (38.0%)	272人 (58.7%)	15人 (3.2%)	0人 (0%)
(備考) 転部 学部から第2部 1名 第2部から学部 1名 休学して海外に留学する学生が多いため、4年での卒業者数が少なくなっている。					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
「授業の方法及び内容」、「到達目標」、「成績評価の方法や基準」、「実務経験のある教員がどのような教育を行うのか」を含む授業内容について記載したシラバスを本学ホームページにて公開している。(様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】から一部抜粋) (シラバス公開 URL) http://www.kobe-cufs.ac.jp/ (上記 URL より、本学ホームページへアクセスしページ右下の「シラバス検索」→「シラバス照会」より検索が可能。)

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
単位取得に必要な基準となる「成績評価基準」を履修規程に定め、本学ホームページで明示している。 【URL】 http://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/seisekihyouka/ また、各授業の「評価の方法・基準」及び「履修にあたっての注意」をシラバスへ明記し学生へ公開しており、各教員はシラバスの評価基準に基づき厳格な評価を行い単位を付与している。

【卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）の具体的な内容】				
次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位を授与する。				
① 世界を見渡す視点を持ち、専攻する地域を中心に言語、文化、社会に関する知識を備え、国際的な対話に対する積極的な姿勢を身につけていること。				
② 特定の分野について外国語で意思疎通ができる能力を身につけていること。				
③ 複数の外国語で社会の基本情報を手に入れ、世界の多様性を理解できる能力を身につけていること。				
④ 世界の出来事に対して、その本質を理解し、その背景について議論し、自分の考えを体系的にまとめる思考力と表現力を身につけていること。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語学部	英米学科	124 単位	有・無	49 単位
	ロシア学科	124 単位	有・無	49 単位
	中国学科	124 単位	有・無	49 単位
	イスパニア学科	124 単位	有・無	49 単位
	国際関係学科	124 単位	有・無	49 単位
外国語学部第2部	英米学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ等で公表 http://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
外国語学部	英米学科	535,800 円	423,000 円	0 円	※「神戸市民及びその子弟」の場合、入学金は 282,000 円。
	ロシア学科	535,800 円	423,000 円	0 円	
	中国学科	535,800 円	423,000 円	0 円	
	イスパニア学科	535,800 円	423,000 円	0 円	
	国際関係学科	535,800 円	423,000 円	0 円	
外国語学部第2部	第2部英米学科	267,900 円	211,500 円	0 円	※「神戸市民及びその子弟」の場合、入学金は 141,000 円。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1・2年生は、クラス担任のチューター制度を設け、修学面や学生生活について相談できる。授業で欠席の多い学生を担当教員が報告し、担任教員との面談、学生相談室に繋げるなど教職員が連携し、早期対応することで出欠状況の改善や単位修得、進級などの改善を図っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 1. 授業：キャリアデザイン（全学年対象、1単位） 2. 就職支援行事 ・就職支援ガイダンス（3年生対象、年間8講座） ・業界研究講座（全学年対象） ・企業説明会（3年生～4年生対象） ・就職ガイドブック、就職活動体験記等作成、配布（3年生対象） ・その他 内定者体験報告会、筆記試験対策講座など 3. 就職相談（就職に関する個別相談） 4. TOEIC受験支援（TOEIC対策講座、1年生への受験料補助） 5. インターンシップ参加支援 ・インターンシップセミナー ・インターンシップ参加斡旋、海外インターンシップの開催 ・一定の条件を満たすインターンシップ参加への単位付与（1～2単位）
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 入学時健康調査・入学時保健調査を実施し、心身の健康状態を把握するとともに、配慮が必要な学生の早期対応を行う。保健室だより・学生相談室だよりを年4回発行し、食事や栄養面の啓発や疾病の予防法、相談室紹介など情報を提供している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ等で公表 http://www.kobe-cufs.ac.jp/kyouikujouho.html
--